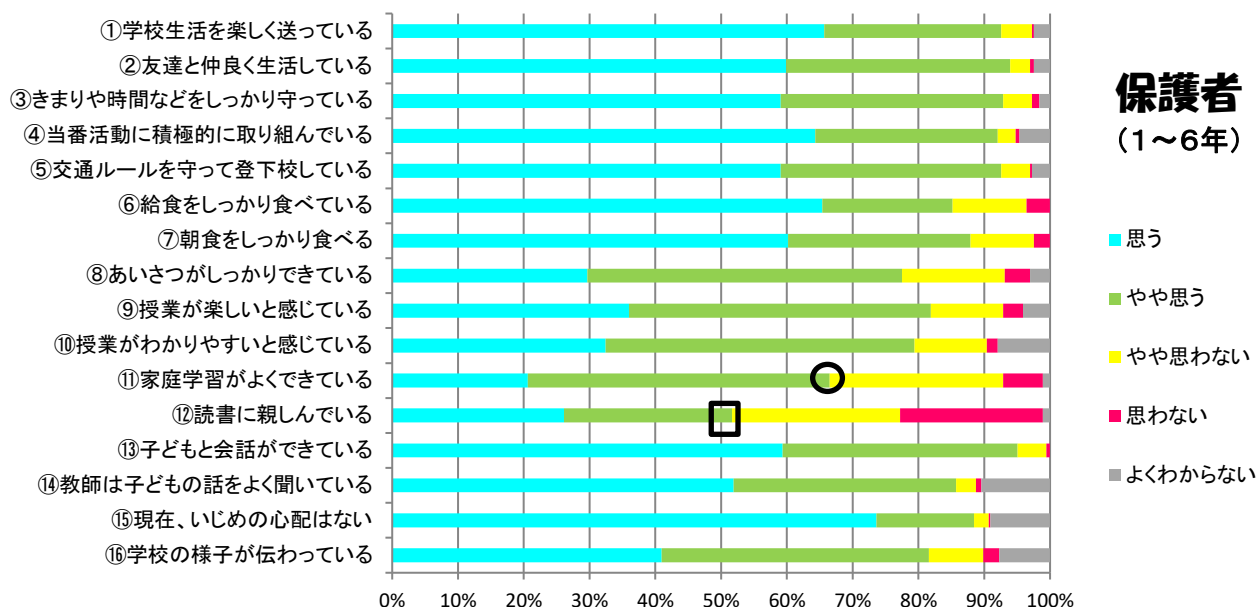
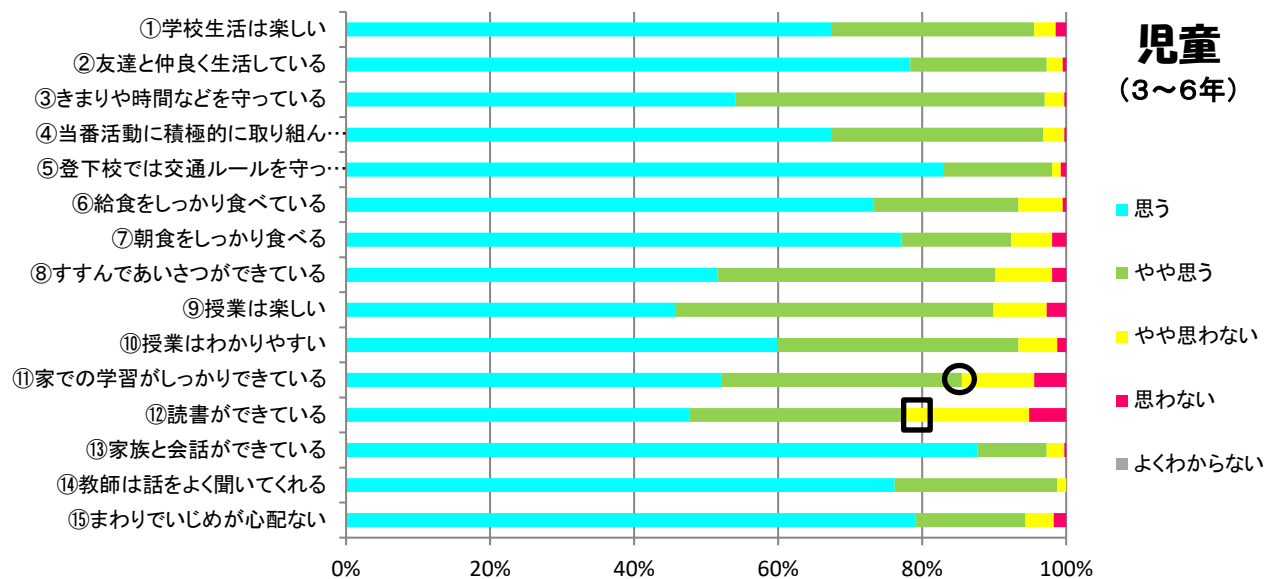
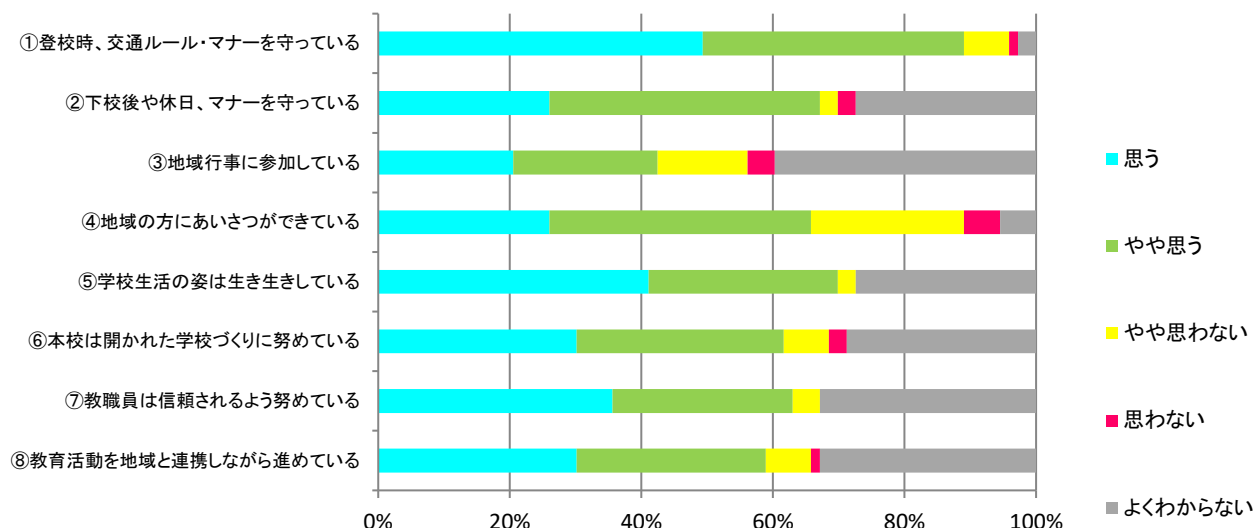


令和4年度 三蔵子小学校『学校評価アンケート』結果

2学期末、3年生以上の児童(407名)と保護者(364名)・地域73名を対象に学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。結果は以下の通りです。



地域の方



アンケート結果から見える＜家庭・地域・学校で取り組みたい『家庭学習』『読書』＞

【家庭学習(○)】

児童の回答を見ると、80%以上が「家庭学習をしている」と答えています。しかし、保護者や職員のアンケートをみると65%にとどまっている。この結果から家庭学習はしているが、内容面で物足りなさを感じている家庭が増えてきていると予想される。また、学年別に集計をしてみると高学年に上がるにつれて家庭学習の数値が減少している。毎日の家庭学習の様子を見ると、丁寧に家庭学習(宿題)をする児童と宿題をやっただけの児童と2極化している。日々の積み重ねが学力の差につながっている傾向にある。この結果から、家庭学習(宿題)の質の向上を目指していけるように学校と家庭が連携してやっていけたらと考えている。

【読書(□)】

児童の80%以上が「すすんで本を読んでいる」と答えています。学校では、「朝の読書タイム」や「本と仲良し週間」、「教師によるおはなし広場」の実施など、読書にふれあう機会を増やしています。また、昨年度の終わりに図書室の場所を広い場所に移動したことにより、長い放課には多くの児童が図書館に訪れるようになりました。その結果、昨年度より「読書に親しむ」割合が増えている。しかし、保護者のアンケート結果を見ると、児童の家庭での「読書に親しむ」の割合が50%位になっている。学校と家庭での読書量には差異がありますが、まずは学校における読書への意欲を更に高めていきたいと考えています。魅力ある図書館づくりを環境面から進めることで、一人でも多くの子が本を手にする機会を増やしていこうと思います。

文責:校務主任 伊知地 勝

